



Júbilo IWATA 2020 HOMETOWN REPORT

2020シーズンホームタウン活動報告
(2020年2月1日~2021年1月31日)





はじめに

ジュビロ磐田は、皆様にくより親しまれ愛されるクラブを目指し、磐田市を中心に静岡県西部地域の課題や地域振興に対して様々な活動に取り組んでいます。多くのステークホルダーの皆様と連携しながら、サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。

【ジュビロ磐田のホームタウン活動方針】

①健康・スポーツの普及、振興

- ・誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり

②地域課題への取組

- ・スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり
- ・郷土愛をはぐくみ地元を誇れる取組

③地域振興への取組

- ・活気ある静岡県西部地区の街づくり

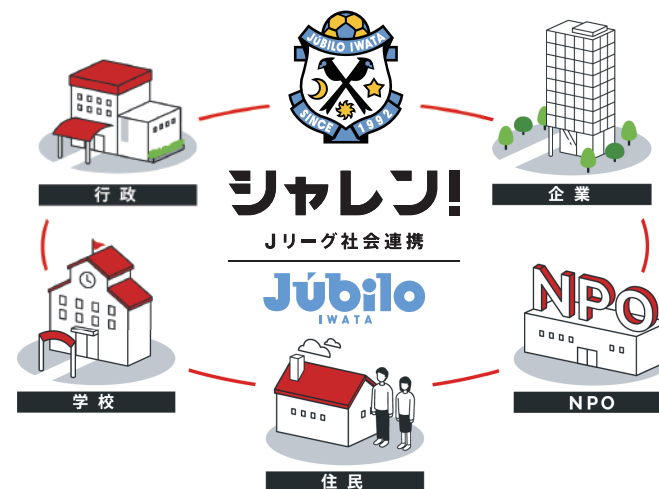


Jリーグをつかおう!

シャレン!

Jリーグ社会連携

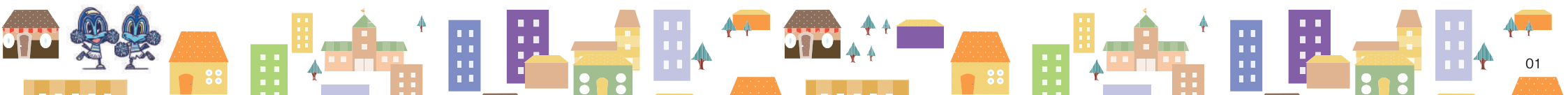
Jリーグが掲げる「シャレン」(社会連携活動)に取り組み、「ジュビロを使おう!」を合言葉に地域の課題を地域の皆様と一緒に取り組んできました。今後も人々が心身の健康と生活の楽しみを享受できる街づくりを目指します。



シャレン!(社会連携活動)とは?

社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。

3者以上の協働者と、共通価値を創る活動を想定しており、これらの社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。また、Jリーグはシャレン!を通じて、SDGsにも貢献しています。



ジュビロ磐田はシャレンを通じて SDGsに貢献しています。



SDGsとは？

2015年に国際サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。



SINCE 2020

ソナエル東海とは？

“備えるをたのしもう”東海地区の6つのJクラブがチカラを合わせる「ソナエル東海」を発足。

清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスルクラロ沼津、名古屋グランパス、FC岐阜の6つのJクラブは、2020シーズンにJリーグのかけ声のもと推進している4つの社会連携テーマ(防災、高齢者、子ども、一次産業)の1つである防災をテーマにしたプロジェクトをスタートしました。

今後30年以内の発生確率が80%を超えると言われる南海トラフ地震をはじめとしたあらゆる災害に対して「備えるを、たのしもう。」をコンセプトに、地域を中心とした多様な連携先と共に、Jクラブの持つ資源を使って頂くことを通じて、災害から命を守り避難生活に備えるための防災意識を高め、そして、具体的な行動の喚起へと繋がって行くことを目指します。

詳しくはこちら





株式会社ジュビロ
代表取締役社長
小野 勝

日頃よりジュビロ磐田にご支援・ご声援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に直面し、Jリーグだけでなく生活様式自体も変更を余儀なくされました。その中でもジュビロを支えてくださった全ての皆様にまずは感謝の意を表したいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中ではありますが、地域の皆様との絆を強め、一緒になって地域課題の解決を図るべく、社会連携活動(シャレン)を主軸としてホームタウン活動を推進してまいります。

クラブの理念である〈夢と感動!〉を多くの皆様と分かち合えるよう努めてまいりますので、引き続きのご声援を宜しくお願い申し上げます。



2021
選手会会長
アカデミー出身
**DF 24
小川大貴**

いつも熱いご声援、誠にありがとうございます。また、選手会の活動にもご理解・ご尽力いただき、選手を代表し重ねてお礼申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、変化の大きな年になりました。このような時期ではありますが、私たち選手会は、ホームタウン活動などを通して少しでも地域の発展に貢献できるよう、様々な活動に取り組んでいこうと考えています。これからも、ご協力の程よろしく願い申し上げます。



2021 選手会副会長
DF 22 中川 創

いつも温かいご声援、ありがとうございます。

私たち選手は、地域の皆さんのサポートに支えられ、日々充実したサッカー生活を送ることができています。

日ごろの感謝の気持ちを込めて、プレーはもちろんのこと、ホームタウン活動にも積極的に参加することで、地域の皆さんに恩返しができるよう頑張ります。



アカデミー出身
浜松市出身
DF 45 鈴木海音

いつもご声援いただきありがとうございます。

アカデミー・ユースの選手たちも、地域の方々への感謝の気持ちを持って、サッカー生活を送っています。いつもサポートいただき、本当にありがとうございます。

ホームタウン活動を通じて、地域の子供たちのお手本となるよう頑張っていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

ホームタウン
出身選手

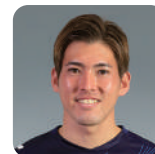
2021シーズン在籍



浜松市出身
**MF 10
山田大記**



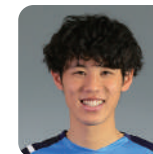
浜松市出身
**MF 15
伊藤洋輝**



浜松市出身
**GK 21
杉本大地**



浜松市出身
**MF 23
山本康裕**



磐田市出身
**DF 25
森岡 陸**



ホームタウン重点7市1町で行った主なイベント

サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。



成人式inスタジアム



節分祭豆まき



磐田デー



磐田部活



いわた×ジュビロ展

IWATA

- 成人式inスタジアム
- 節分祭豆まき
- 入学式交通安全バッグ贈呈
- リサイクルクリーンecoステーション
- 磐田デー



KOSAI

- 選手とリモート交流

浜松市

HAMAMATASU

- 浜松フーデリックスマッチ
- 運動あそび教室
- サッカー巡回教室



浜松フーデリックスマッチ



MORI

- サッカー巡回教室



サッカー巡回教室

森町

KAKEGAWA

- サッカー巡回教室



サッカー巡回教室

掛川市

KIKUGAWA

- サッカー巡回教室



サッカー巡回教室

菊川市

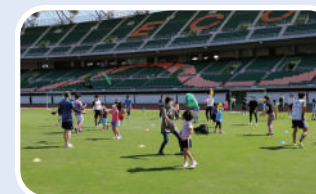
OMAEZAKI

袋井市

御前崎市

FUKUROI

- サッカー巡回教室
- 招待事業
- エコパフットボールデー



エコパフットボールデー



地域のサッカー普及・育成・文化の醸成、子どもたちの健康促進

主な活動

- 幼稚園・保育園のサッカー教室・運動あそび教室
- 静岡県サッカー協会、自治体、企業などの主催のサッカー教室、運動教室
- 大学と共同のサッカークリニック
- パラスポーツ(サッカー・運動)教室
- 各種大会の主催、協賛、運営

サッカー巡回教室

磐田市、浜松市、袋井市、掛川市、菊川市、森町の幼稚園、保育園の園児たちを対象に、巡回サッカー教室を行っています。

2020シーズン
サッカー巡回教室 参加人数

○ 磐田市:25園	759人
○ 浜松市:35園	1,112人
○ 袋井市:16園	474人
○ 掛川市:13園	346人
○ 菊川市:6園	190人
○ 森町:3園	52人
○ 合計:98園	2,933人
○ ※磐田市は幼児合同スポーツ教室として実施	



運動あそび教室

浜松市内の幼稚園、保育園を対象に、運動あそび教室を行っています。各園の思いを反映し、様々な運動を経験することによって園児たちに身体を動かすことの大切さを感じてもらい、運動を継続し健康的な生活を送ってもらいたいと考えています。

○ 2020シーズン	
○ 運動あそび教室 参加人数	
○ 浜松市:34園	852人

静大・ジュビロサッカークリニック 浜松U-9・10

2015年に静岡大学とジュビロ磐田が包括連携協定を締結。浜松市内の67チームのU9・10の子供たちを対象にサッカークリニックを行っています。サッカーの基本技術を中心に、楽しいクリニックを目指して活動しています。

パラスポーツ(サッカー・運動)教室

ジュビロ磐田では、スポーツを通してインクルーシブな社会の実現を目指しています。障がいの有無に関わらず、誰もが分け隔てなくスポーツを楽しめるようにパラスポーツ(サッカー・運動)教室を行っています。



スポーツを身近に、より健康で豊かに

スポーツを通じて、地域の皆様とより密接に交流し、健康で豊かな地域づくりを目指しています。

自主事業



主な活動

- 親子サッカー教室
- ジュニアチアダンス教室
- 大人女子サッカー教室
- わくわくキッズ体幹トレーニング
- わくわくジュニア体幹

2016年よりNPO法人磐田スポーツ協会と共同で、市内の芝生グラウンド(5面)の指定管理を受託。自主事業として、天然芝グラウンド等でスポーツ・健康をテーマとした各種教室を開催しています。コロナの影響で規模を縮小しながらも市民の健康で豊かな生活に寄与できるよう開催してきました。

磐田部活

文科省が学校部活から地域部活への移行を発表したことを受け、磐田市と協働でテストケースとして、地元中学2校のサッカー部員たちが参加した「磐田スポーツ塾」と題したサッカー教室を開催しました。



おとな女子サッカー

ジュビロでは初となる「おとな女子サッカー教室」を開催しました。1クールで4回実施。「ケガせず楽しく」をモットーに毎回約15名の方にご参加いただきました。8割の方が初心者。静岡市や藤枝市からもご参加いただきました。



パパ向け子育て教室 「今日からパパもフィジカルコーチ」

中馬フィジカルコーチが日本代表やジュビロ磐田で行っているトレーニング内容と、体幹トレーニングの重要性についてお話ししました。屋外の芝生広場では体幹トレーニングを実際に体験し、大切なポイントを今話題の「鬼滅の刃」の「全集中」の呼吸に例えて、わかりやすく説明しました。



エコパ フットボールデー

JFAと協働でだれもが気軽にサッカーの試合やアトラクションを体験できるイベントを開催。今回は、アグレミーナ浜松のスタッフ・選手も一緒に、親子でウォーキングサッカーやボール遊びを楽しみました。



夢と感動の共有

スタジアムでの観戦を通して、子どもたちの健全育成に寄与しています。また、子どもたちと交流することで、夢と感動を共有する機会を提供しています。

招待事業

ホームタウンを中心とした地域の小中学生を対象にホームゲーム招待事業を行っています。

2020小中学生スタジアム招待実績

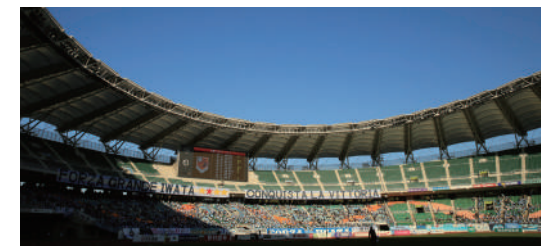
■ 磐田市招待事業(ヤマハスタジアム)

磐田市と協働で磐田市小中学生を招待
14,149名×2試合

■ エコパスタジアム招待事業

2020年12月6日大宮戦

袋井市の小中学生.....8,140名



様々な地域スポーツの推進

ジュビロ公式チアリーダーズ「Jubies」

「Jubies(ジュビーズ)」は、ジュビロを応援したい! ダンスが大好き! ホームタウンを笑顔でいっぱいになりたいという女の子たちが、その場にいる人を元気づけ、全員を笑顔にすることを目指してレッスンに励んでいます。

コロナ禍の中で、なかなかパフォーマンスを披露する機会がありませんでしたが、人々に「夢と感動」を与えるスポーツの楽しさ、チームワークの大切さを学んでいます。



ジュビロヨガクラブ

福田屋内スポーツセンターで、18歳以上の男女を対象に「続けることでカラダが変わる」をスローガンとして、ヨガ教室を開催しています。



スポンサー企業による地域貢献へのお手伝い

スポンサー企業とともに、
地域の子もたちのサッカーとの初めての接点や、
面白さを体験してもらう機会を提供しています。

Jリーガーも経験 サーラカップ

静岡・愛知・岐阜・神奈川県での予選を勝ち上がった16チームによるトーナメント戦をヤマハスタジアムにて開催。過去のサーラカップ出場者の中には現在プロ選手として活躍しているプレーヤーもいます。



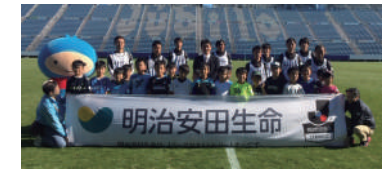
体づくりもサッカーには大切 サーラキッズ

「栄養セミナー」や「フィジカルコンディショニング講座」、「サッカー教室」の3つのプログラムを実施するなど総合的な育成プログラムとしてサッカーの普及に努めています。



明治安田生命浜松支社 子どもサッカー教室

明治安田生命による「地域社会への貢献」の一環として、全国にある支社を中心にホームタウン地域のお子様を対象とした子ども向けのサッカー教室を開催しています。



ジュビロが育てる未来のジュビロ

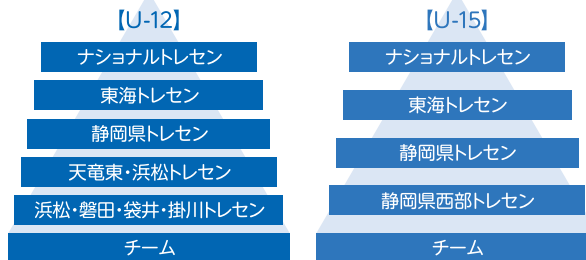
ジュビロの育成・普及組織やホームタウンで育った選手が、やがてプロ選手としてJリーグや世界の舞台で活躍すること、サッカー・スポーツを継続し健康に成長すること。そしてまた、子どもたちが指導者や子を持つ親となったとき、サッカー・スポーツやジュビロを愛する気持ちを、その次の世代につなげてくれること。それが私たちの願いです。

サッカーの普及

『地域に根ざしたスポーツクラブ』というクラブ理念のもと、サッカーの普及を通してジュビロファミリーの輪を広げるとともに、地域のスポーツ文化の醸成に貢献しています。

選手・指導者育成への協力

ジュビロ磐田では、ホームタウンエリア全体のサッカーの普及・育成を目指し、地域の指導者の皆さんと協力して、トレセン活動等を行っています。指導者講習会やサッカークリニックを開催し、ジュビロ磐田の持つノウハウを地域に還元し、スポーツを楽しむ環境づくりに努めています。



ジュビロでは、各トレセンの指導に関わっています。

サッカースクール

ジュビロサッカースクールは、約40年の歴史を持ち、地域のサッカーの育成・普及に長年努めてきました。子どもたちにとって、サッカーとの出会いの場所でもあるサッカースクールでは、多くの子どもたちに技術だけでなく、「サッカーを楽しむ気持ち」を育むことを第一の目標に指導をしています。



[スクール生]

- キッズ～小学6年生 / 1,300人
- 中学1年～3年生 / 200人



スクール生限定企画 「せんしゅにききたい！」

2020年5月実施



ジュビロサッカースクール出身選手(2021シーズン在籍)



10. 山田大記
ジュビロ浜松SS
ジュビロ浜北Jr.ユース



23. 山本康裕
ジュビロ浜北Jr.ユース



21. 杉本大地
ヤマハジュビロ浜松



25. 森岡 隼
ジュビロSS磐田



45. 鈴木海音
ジュビロSS鶴見会場

※この他にも7名のジュビロサッカースクール出身選手がJリーガーとして活躍しています

地元への誇りと愛着の醸成

磐田市成人お祝い in ヤマハスタジアム

新型コロナウイルス感染症の影響により、磐田市の成人式が中止になったことを受けて、磐田市の新成人の皆様にヤマハスタジアムを開放しました。スタジアムの大型ビジョンには、当時の一斉観戦事業の映像や山田選手のビデオメッセージを放映し、新成人の晴れの日を祝福しました。



環境問題への取り組み

植林活動

リサイクルクリーンecoステーション

株式会社リサイクルクリーンのご協力をいただき、ヤマハスタジアムでの試合時に空き缶・ペットボトルを回収しました。

2020シーズンは、缶：399kg、ペットボトル：75kgを回収し、4本の苗木を購入することができました。苗木は、2021シーズン中に浜松市天竜区の山に植樹される予定です。



磐田市内小学生にオリジナルグッズ配布

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、磐田市内小学生一斉観戦事業が中止となってしまいましたが、磐田市内小学生5・6年生約4,000名に対して、サーラグループのご協力によりオリジナルキャップが、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社のご協力によりオリジナルタオルマフラーが贈呈されました。

また、例年実施している磐田市内小学生全学年約10,000名に対して、電器堂株式会社、合資会社プランニング名古屋、有限会社静岡ガードのご協力によりオリジナルクリアファイルが贈呈されました。



ジュビロと自治体による「まちづくり」

ジュビロの伝える力を活用して、交通安全や人権を守る運動などの啓発活動を推進しています。

交通安全

ジュビロ磐田は交通安全に関する取り組みを積極的に行っています。

【のぼり旗】

磐田市と協力してジュビロのマスコットをモチーフにしたのぼり旗を製作し、自治会や商店会のご協力を得て交通事故防止のため街の交差点や商店街、街の至る所にのぼり旗を掲出しています。



交通安全グッズの贈呈

交通安全の一助になるように交通安全グッズを贈呈しています。



入学式交通安全バッグ贈呈

2012年より磐田市と協力して磐田市内の小学校に入学する新1年生に交通安全バッグを贈呈しています。



臓器提供意思表示カード

静岡県臓器バンクの臓器提供意思表示カードの製作に協力し、感謝状をいただきました。



ソナエル東海

“備えるを、たのしもう。”東海地区の6つのJクラブが防災のためにチカラを合わせる「ソナエル東海」を発足。

清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスルクラロ沼津、名古屋グランパス、FC岐阜の6つのJクラブは、Jリーグが社会連携活動として推進する4テーマ(防災、高齢者、子ども、一次産業)の1つである防災をテーマにしたプロジェクトをスタートしました。



詳しくはこちら



ジュビロは

●ハザードマップの周知

- ハザードマップを幅広い年齢層に知っていただく活動をしていきます。
- 特に若年層に知っていただくためにスマートフォン等のデジタルの活用を進めていきます。
- スタジアム見学や運動教室等に参加していただいた子どもたちにオリジナルシールをプレゼントしています。その裏面には磐田市・浜松市のハザードマップが確認できるQRコードを印刷。家に帰ってから家族みんなで防災準備ができるようにしています。

●防災ゲーム

- 小中学生を対象とした「楽しく学べる防災ゲーム」を製作し、子どもたちと共に学べる機会を作っていきます。



その他の活動

～大型ビジョンなどでの告知協力～

- 国土交通省「バスの車内事故防止月間」
- 国土交通省「不正改造車を排除する運動」
- 磐田警察署テロ防止
- 磐田警察署・交通安全協会磐田地区支部・磐田地区安全運転管理協会 交通安全PR
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)
- 静岡県自動車点検整備推進運動
- 磐田警察署詐欺被害防止
- 静岡県教育委員会子供・若者育成支援強調月間

地域に寄り添うクラブでありたい

新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態にジュビロが持つリソースで地域をサポートしました。

寄付金

2020シーズンのホームゲームにて御厨駅・エコパスタジアムにて掲出した「選手バナー」、およびヤマハスタジアムVIPルームに掲出した「選手パネル」を、ジュビロサポーターズクラブ会員様にご購入いただいた売上を原資とし、磐田市民病院へ寄付しました。経費を除き、寄付金額は【548,197円】となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

ジュビロをつかおう!

静岡県西部地域の皆様の力に少しでもなればと、「ジュビロをつかおう!」サイトを立ち上げました。

活動区域としている7市1町(磐田市、浜松市、湖西市、袋井市、掛川市、森町、菊川市、御前崎市)のデリバリーやテイクアウトができる飲食店を紹介しています。



ジュビロ磐田がマスクを寄付

全国的にマスク不足が問題となった時期に、「日頃ジュビロ磐田を支えて下さっている磐田市民の皆様が健康に過ごせるよう、役立てて頂ければと思います。」とコメントし、備蓄用マスク5,000枚を磐田市へ寄付しました。



フーデリックスPR

浜松フーデリックスマッチにて、浜松市が推進するデリバリープラットフォーム構築事業に採択された飲食デリバリーシステム「フーデリックス」のPRとして、ジュビロ広場でのブース展示、大型ビジョンCMの放映、チラシ配布を実施しました。



シトラスリボン

新型コロナウイルス感染症への警戒が続く中、感染者や回復した人、濃厚接触者、医療従事者やその家族の方などに対し、心無い言動や不当な扱いなど差別や偏見は決してあってはなりません。そこで、市民一人ひとりが感染症に対する正しい理解を持ち、互いに支え合い、励まし合えるまちを目指すための啓発活動として、磐田市と一緒に現在全国に広まりつつあるシトラスリボン運動に賛同し、広めてきました。



ジュビロ選手会による活動

寄付

ジュビロ選手会がマスクを寄付

静岡県西部の保健所（静岡県西部保健所、浜松市保健所）と地域の総合病院（磐田市立総合病院、聖隷浜松病院）へマスクを寄付。ジュビロ磐田選手会からは小川大貴選手と中野誠也選手が出席し、日頃尽力いただいている医療従事者の皆様への感謝をお伝えしました。



ジュビロ選手会が次亜塩素酸を寄付

選手会から「いつも応援して下さいの磐田市の皆様の安全を守るために、お役立て頂ければ」と磐田市に次亜塩素酸消毒液1,000リットルを寄付しました。

医療に従事されているスポンサー12法人（医療法人社団 海仁／有限会社アマング／うちやま呼吸器アレルギークリニック／医療法人社団 順仁会 きたはらクリニック／どい整形外科スポーツクリニック／医療法人社団 凜和会 藤枝駿府病院／月花眼科／医療法人社団 やすらぎ／株式会社まめお薬局／菅沼医院／小早川整形リウマチクリニック／医療法人社団 倫誠会 山下クリニック）へ次亜塩素酸消毒液1,060リットルを寄付しました。

医療法人社団 海仁からは「選手会の好意、ありがとうございました。今回いただいた次亜塩素酸消毒液を職場の衛生面の向上目的で使用させていただきます。今年も職員一丸となってジュビロ磐田を応援させていただきます。」とコメントをいただきました。

選手が地元還元 次亜塩素酸を寄付

大井健太郎選手、山田大記選手が藤枝市を通じ、市内の小中学校やスポーツ施設、グループホームへ次亜塩素酸を寄付しました。小川大貴選手が富士市教育委員会を通じ、富士市内小学校へ次亜塩素酸を寄付しました。

山本康裕選手が浜松市浜北区役所を通じ、区内にある49の幼稚園、保育園、子ども園、小学校、中学校へ次亜塩素酸を寄付しました。



One Shizuoka Project

“スポーツの力で静岡をひとつに”を合言葉に県内4つのクラブ（磐田・藤枝・清水・沼津）の選手会が、いつも支えていただいているサポーター、スポンサー、地域の皆様を少しでも支えるため、合同でプロジェクトを立ち上げました。

- ◇クラウドファンディングの実施
- ◇公式SNSアカウントで情報発信
- ◇オリジナルグッズの販売
- ◇小学生向けオンライン講演



詳しくはこちら



あなたの町で出会うジュビロ

ジュビロに一層親しんでいただけるよう、地域の皆様のイベントに参加したり、スタジアムの外で楽しんだりできるようなイベントを開催しています。

いわた×ジュビロ展

初めて「いわた×ジュビロ展」を磐田中央図書館で開催。これまで磐田市とクラブが共に進めたホームタウン事業（一斉観戦、夢語り事業等）を紹介したり、歴代のユニフォームや広報誌、一斉観戦に使用した歴代のキャップなども展示しました。



オンラインミーティング

選手とファン、サポーター、スポンサー、スクール生等が触れ合う機会として、オンラインミーティングを開催しました。

- ◇サポーターズクラブ会員
- ◇スクール生
- ◇スポンサー
- ◇湖西地区サッカースポーツ少年団(浜名湖JC)



聖隷浜松病院クリスマス会

小川大貴選手、山田大記選手が聖隷浜松病院小児科病棟にクリスマスプレゼントとビデオメッセージを届けました。例年、子どもたちには直接手渡していますが、今年はビデオメッセージとなりました。



学校教育関連

スタッフ学校訪問講演事業

静岡県西部地域の小・中学校を中心にクラブスタッフが訪問し、子どもたちに、サッカーに携わる仕事や自分の夢、そして私たちジュビロ磐田のスタッフが持っている専門的な知識などについて語り、子どもたちが将来の夢や希望を抱く心を育む活動を行っています。



学校訪問一覧

- 磐田市立青城小学校 総合学習
- 磐田市立豊岡北小学校 総合学習
- 磐田市立竜洋中学校 キャリア教育
- 磐田市立豊田南小学校 総合学習

静岡産業大学冠講座

静岡産業大学でジュビロのスタッフが講師として実施する冠講座。2004年より継続実施しています。



似顔絵表彰

ジュビロ磐田ホームタウン推進協議会主催による「ジュビロ磐田似顔絵コンテスト」は毎年1000点以上の応募をいただいています。グランプリ、準グランプリの方は、ホームゲーム時にスタジアムで表彰をしています。

2020 ジュビロ磐田 似顔絵コンテスト
クラウンプリ



野暮 昌史64 [モデル:ルリーニャ選手]

ジュビロキッズ配布

ジュビロ磐田とヤマハ発動機ジュビロが、磐田市、浜松市、袋井市、森町の協力のもと、地域の小学生全員に学校を通じてミニ新聞を配布しています。表紙の「君の心にエール」では、選手から夢に向かって頑張っている子どもたちに向けたメッセージを届けています。



図書カード贈呈&推薦文庫

例年の図書カードの贈呈に加え、2020年は選手より中学生向けの推薦図書を選定し、「選手が選ぶ“中学生のうちに読んでおきたいおすすめ本”」と題して、各中学校に図書カードと合わせてお送りしました。



卒業のお祝いメッセージお届け

磐田市内の小学校を卒業する6年生へ小学校卒業のお祝いの気持ちと、一斉観戦事業をはじめ、日ごろの応援への感謝をこめて、全小学校へお祝いのメッセージを届けました。



課外授業受入

小中学校の課外授業でスタジアム見学、職業体験等の受け入れを行っています。



サッカーを通じた交流

行政、住民、観光、協会など、様々な方々と協働の場を作っています。

シーズン激励会

キャンプ出発日、磐田市役所前で「シーズン激励会」が行われ、多くの市民が見守る中、市長から激励の言葉をいただきました。



磐田デー

磐田市内の全小学校5・6年生の一斉観戦はコロナの影響で中止となりましたが、有観客試合となった後、磐田市を盛り上げるため「磐田デー」を実施しました。

市長によるキックインや磐田市合併15周年オリジナルシャツを着用して選手が入場しました。その他、来場者に抽選で磐田市特産品などがプレゼントされました。



浜松フーデリックスマッチ

2020年は例年実施していた「浜松デー」に代わり、浜松市が推進するデリバリープラットフォーム構築事業のPRのため、浜松市、フーデリックス協議会と協同で「浜松フーデリックスマッチ」を開催しました。浜松市民100名様を招待し、市長のキックインや浜松の野菜詰め合わせやウナギなどが当たる抽選会を実施しました。





※順不同 2021年4月30日時点

オフィシャルスポンサー



ヤマハ発動機(株)／サラグループ／(株)静岡新聞社・静岡放送(株)／浜松ホトニクス(株)

ユニフォームサプライヤー

プーマジャパン(株)

ユニフォームスポンサー

ヤマハ発動機(株)／サラグループ／浜松ホトニクス(株)／サクラ工業(株)

ゴールドメンバー

遠州鉄道(株)
(株)静岡第一テレビ

(株)コーシンサービス
浜松ホトニクス(株)

(株)静岡新聞社
三井住友海上火災保険(株)

静岡放送(株)
ヤマハ(株)

(株)静岡銀行
ヤマハ発動機(株)

シルバーメンバー

石川建設(株)
シダックスコントラクトフードサービス(株)

(株)SBSプロモーション
大和証券(株)

医療法人社団 海仁
野村証券(株)

(株)クレストック
浜名梱包輸送(株)

JAバンク静岡



株式会社ジュビロ

〒438-0025 静岡県磐田市新貝2500

<http://www.jubilo-iwata.co.jp>